

「アートリンクとちぎ 2007」 五百城文哉を偲ぶ

五百城文哉(1863年～1906年)は、肖像画や風景画をはじめ、植物学の知識に裏付けられた細密な植物画の数々を描いた洋画家です。会期中の6月6日に命日を迎える文哉の、優れた画業の一端をぜひご覧ください。

▶アートリンクとちぎ2007とは

施設改修を行っている栃木県立美術館が、工事期間中に所蔵する作品を県内外の美術館に貸し出し、展示する活動のことです。その一環として、小杉放菴記念日光美術館では、小杉放菴の師匠である五百城文哉の作品5点すべてを預かり、当館の所蔵作品と併せて紹介する展覧会「五百城文哉を偲ぶ」を開催します。

会 期：6月2日(土)～7月16日(月)

開館時間：午前9時30分～午後5時

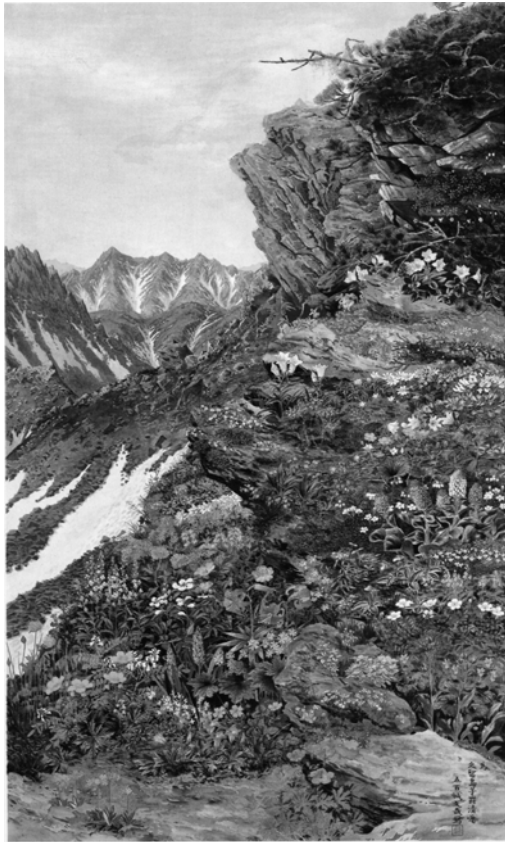
※入館は午後4時30分まで

休 館 日：毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌日を休館)

入 館 料：一般…700(300)円 大学・高校生…500(200)円

小・中学生…300(100)円

※()内は市民割引券を利用した際の料金



五百城文哉『百花百草図』(絹本・水彩、軸装)
147.3cm×86.4cm 栃木県立美術館所蔵

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO



小杉放菴記念日光美術館

『江戸八百八町の名探偵』

平和な世の中が約二百七十年続いた江戸時代。その中心であった江戸の町は、人口が百万人を超え、当時、世界で最も人口の多い都市だったといわれています。その江戸の治安を最前線で守つてい

常に感銘を受けました。そして、自分が精通していた江戸時代を背景に、推理小説を書こうと考えました。『半七捕物帳』に登場する主人公の「三河町の半七」は、江戸の三河町に住んでいて、建具屋を営む傍ら、岡っ引きをしています。シリーズ第一作の「お文の魂」で、「彼は江戸時代に於ける隠れたシャアロック・ホームズであった」(光文社文庫版『半七捕物帳(1)』より)と紹介されています。

本を楽しむコラム

図書館へ行こう!



捕物帳小説を最初に考えたのは、大正時代を中心に活躍した小説家の岡本綺堂でした。彼が大正六年一月から雑誌に連載を開始した『半七捕物帳』がその最初といわれています。

綺堂は、シャーロック・ホームズの物語を読んで非

きました。皆さんのお気に入りにもいるのではないのでしょうか。

捕物帳小説の魅力は、何といっても江戸の情緒と推理小説としての面白さ。あなたも江戸の香りに触れながら、名探偵たちの活躍を読んでみませんか?

市有自動車を購入

【4/18・日光】

このたび、市では国際ソロプチミスト日光(渡辺弘子会長)より、認証10周年を記念して開催したチャリティコンサート(軽トラ)の益金などから寄付をいただき、市有自動車(軽トラ2台)を購入しました。



文・写真：管財課

大笹牧場早期入牧

【4/26・今市】

大笹牧場では、乳牛の放牧が始まりました。季節はずれの雪により、約1週間遅れの放牧となりましたが、県内各地の酪農家から約50頭が到着しました。到着後、戸惑いを見せる牛もいましたが、元気に牧場内へ入っていました。これから11月中旬まで約270頭の乳牛が放牧されます。



文・写真：秘書広報課

東小来川の獅子舞

【4/29・日光】

江戸時代から伝わるといわれるこの獅子舞は、関白流で3匹の親子獅子です。毎年4月29日に行われています。暴れ獅子ともいわれる激しい舞のため、舞手は男性で、地元の方に代々受け継がれています。



文・写真：東小来川八坂神社氏子会

人気の山野草展

【5/3～5/18・藤原】

市内の山野草愛好者が心を込めて育て上げた作品(約200種500点)を展示した「第23回山野草展」が5月3日から18日まで鬼怒川レジャー公園で開催されました。連休中も、会場は大勢の人でにぎわいました。



文・写真：鬼怒川・川治温泉観光協会

金精道路が開通

【4/19・日光】

冬季通行止めとなっていた、金精道路の開通式が行われました。この日は、小雪が舞う中での開通式となりましたが、開通を待つて並んでいた多くのドライバーに、湯元温泉の女将たちから記念品が手渡されました。



文・写真：(社)日光観光協会

足尾駅祭にぎわう

【4/28～4/30・足尾】

地域の活性化と、わたらせ渓谷鐵道の乗客増を目的とした足尾駅祭が開催されました。ミニ鉄道は、順番待ちの行列ができるほどの大人気。アトラクションでは、地域で活動するジャズバンドの演奏なども行われました。



文・写真：足尾駅祭実行委員会

ビーフ・ピア栗山

【5/3・栗山】

栗山地域の上池ダム広場で、ビーフ・ピア栗山が開催されました。この日は天候にも恵まれ、訪れた約500人の参加者たちは、大自然の中でバーベキューを楽しんでいました。今年は暖冬だったため、ビーフ・ピアの開催よりも開花が早いのでは、と心配されていた月山のヤシオツツジも満開でした。



文・写真：日蔭夫婦岩地域開発組合

地域のニュースを募集します!!

皆さんから記事・写真を募集します。身の回りの「ほっ」とする話題、「あっ」と驚く出来事などを送ってください。
応募方法 記事に写真を添え、住所・氏名・電話番号を明記の上、郵便かEメールで送付または持参してください。
○記事…120字程度(題名、日付、場所を別に記載のこと)
○写真…紙焼き・デジタルデータ(携帯電話のカメラで撮ったものなど、大きくした際に画像が荒れるものは不可)
あて先 〒 321-1292 日光市今市本町1番地
日光市役所 企画部 秘書広報課 広報広聴係
Eメール hishokouhou@city.nikko.lg.jp